

2021 年度懇話会報告

懇話会名 気液二相流技術懇話会
代表者 京都大学 齊藤 泰司
懇話会開催数 1 回
設置年月日 2001 年 4 月
会員数 44 名

○懇話会

第 1 回 懇話会 (一般社団法人日本機械学会 関西支部 第 22 回秋季技術交流フォーラム)
日時: 2021 年 10 月 15 日 (土) 9:30 ~ 12:00
場所: オンライン開催 (Zoom)

プログラム:

- 15-A 室● 気液二相流技術懇話会
- テーマ「熱・物質移動を伴う気液二相流の最前線」[座長 齊藤泰司 (京大複合研)]
- 9:30~10:15 【基調講演】「気液分散系における気泡周辺の物質移動特性」
土屋活美 (同志社大)
- 10:15~10:50 「化学プラントにおける二相流」
石羽 恭 (三菱ケミカル)
- 10:50~10:25 「JAEA におけるプールスクラビング研究の現状」
孫昊旻、茂木孝介 (JAEA)
- 11:25~12:00 「エアロゾルの物質輸送を伴う気液二相流動挙動」
金子暁子 (筑波大)

日本機械学会 関西支部 秋季技術フォーラムにおいて、同志社大学の土屋先生を基調講演に招き、懇話会を開催した。土屋先生には、気液分散系における物質移動現象についてご紹介頂き、気泡塔の設計思想、エネルギー効率を考慮した物質移動速度向上の概念、さらに比較的気泡径が大きい領域での実験的研究など、多岐にわたるご講演を頂いた。三菱ケミカルの石羽様には、化学プラントで直面する混相流挙動の重要性と気泡塔や排水処理設備における数値解析と実験の比較などについてご講演いただいた。JAEA の孫様、茂木様には、最新のスクラビング研究の概要についてご講演頂き、特に気泡内の微粒子の挙動、微粒子の成長過程などを詳細に考慮したモデルと実験結果について説明いただいた。筑波大学の金子先生には、プールスクラビングでの物質輸送を伴う気液二相流現象についてご講演頂いた。特にワイヤーメッシュを用いた気液界面積濃度の定量化とモデル化、さらに可溶性粒子を用いた除去係数の予測法について説明いただいた。

オンライン開催にもかかわらず、66 名以上の参加があり、学生や大学関係者などの聴講者によって活発な議論が行われた。



図 土屋先生による基調講演の様子



図 石羽様のご講演の様子



図 孫様、茂木様のご講演の様子

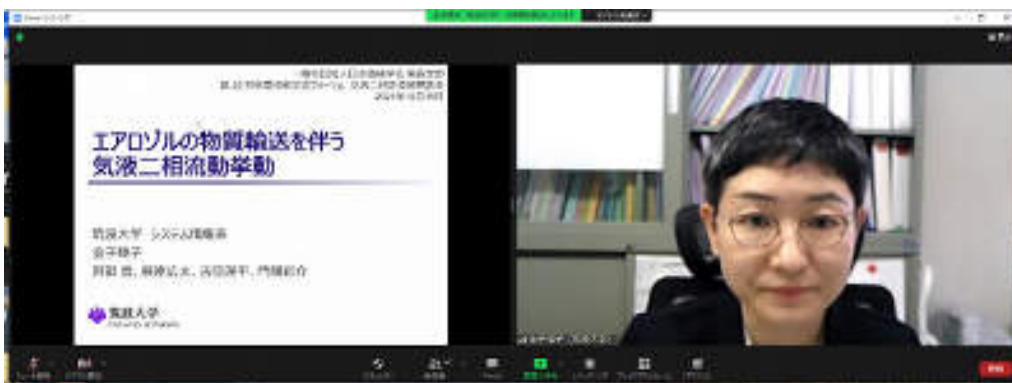


図 金子先生のご講演の様子